

中村俊郎氏に対する島根県功労者表彰について

1. 功績

(1) 石見銀山世界遺産登録実現に対する功績

- ・島根県教育委員委員長として、遺跡のある大田市大森町の住民として、民間の立場からも世界遺産登録に向けて取組を進め登録実現に尽力
- ・世界遺産登録後も、石見銀山遺跡調査活用委員会の委員として、県や大田市に対して今後の石見銀山のより良い調査研究・活用に向けた指導・助言を行うとともに、私財を投じて、石見銀山に関連する絵巻、文献、丁銀等の文化財を収集し、貴重な文化財の散逸防止に寄与

(2) 大森地区の古民家再生による町並みの保全に対する功績

- ・大森町内の空き家（古民家）を買取・改修して、大森銀山重要伝統的建造物群保存地区での古民家再生による町並みの保全に尽力

(3) 島根県立大学のサテライトキャンパス開設に対する功績

- ・平成 31 年 4 月、中村氏が公立大学法人島根県立大学に対して旧朝鮮銀行総裁の松原純一氏の生家を、学生の実践的な学びの場や地域住民の交流の場となる「学びの拠点」として活用することを提案し、これに賛同した同法人と中村ブレイス株式会社との間で、同年 9 月に包括連携協定を締結
- ・以降、双方で協議を重ね、旧松原邸を同大学のサテライトキャンパスに位置づけ
- ・整備に当たっては、旧松原邸の買取り費用と多額の改修経費をすべて中村ブレイス株式会社の負担とするなど、同社の会長として、構想段階から整備に至るまで主導的な役割を發揮
- ・令和 5 年 4 月に「石見銀山まちを楽しくするライブラリー」としての施設整備が完了。大学の学生によるカフェ経営や地域の方向けの公開講座、ゼミでの授業利用など多くの活動が展開され、地域における実践的な学びの拠点として人材育成に寄与

2. 主な経歴

1948(昭和 23)年	島根県大田市大森町生まれ
1966(昭和 41)年	京都の義肢製作所に入社
1971(昭和 46)年	近畿大学短期大学部商経科卒業
1972(昭和 47)年	モダン・オーソペディック社（カリフォルニア州）入社
1974(昭和 49)年	中村ブレイス創業
1982(昭和 57)年	中村ブレイス法人化 代表取締役就任
1998(平成 10)年	島根県教育委員会委員に就任
2000(平成 12)年	島根県立看護短期大学客員教授（平成 14 年まで）
2001(平成 13)年	島根県教育委員長に就任（平成 18 年まで）
2004(平成 16)年	島根県立大学参与（平成 18 年まで）
2018(平成 30)年	中村ブレイス株式会社 会長に就任